

関係人口創出・拡大のための中間支援組織の提案型モデル事業
成果報告会

団体名:一般社団法人離島百貨店

1.事業概要・スキーム図-1

島も山も、「人がいない」という悩みは同じ。過疎地が働く場として選ばれるための地域づくりをする人「地域マネージャー」をつくることで、関係人口を拡大していきます。

離島、山間地域の受入主体

- ・島根県隠岐の島町役場
隠岐地域雇用促進協議会
- ・新潟県粟島浦村役場
粟島観光協会
- ・山梨県丹波山村役場
たばやま観光推進機構



(一社) 離島百貨店

募集・アプローチ・東京でのPR活動
地域おこし協力隊制度を活用

協力事業者

(株)離島キッチン
(株)JTB

都市部における地域マネージャーの募集・育成

オンラインイベントによる募集
「新しい働き方・暮らし方に興味がある人」を募集する中で発掘

マネージャー候補現地合宿
実際の現場を体験、住民側の受入体制にも配慮し実施



アウトプット・目標

3年間の任期中に地域マネージャーを自立させ、労働者だけでなく、様々な目的で地域に関わる人を呼び込めるよう育成する。
地域社会の賑わいを創出する。

主な人材ターゲット

地域に根ざし、地域の事業者等と連携してマルチワーカーやワーキングホリデー労働者をマネジメントできる人材

都市部

人材



地域の情報発信
(呼び込み)

島・山

地域マネージャー

協同組合



特定地域づくり事業協同組合制度

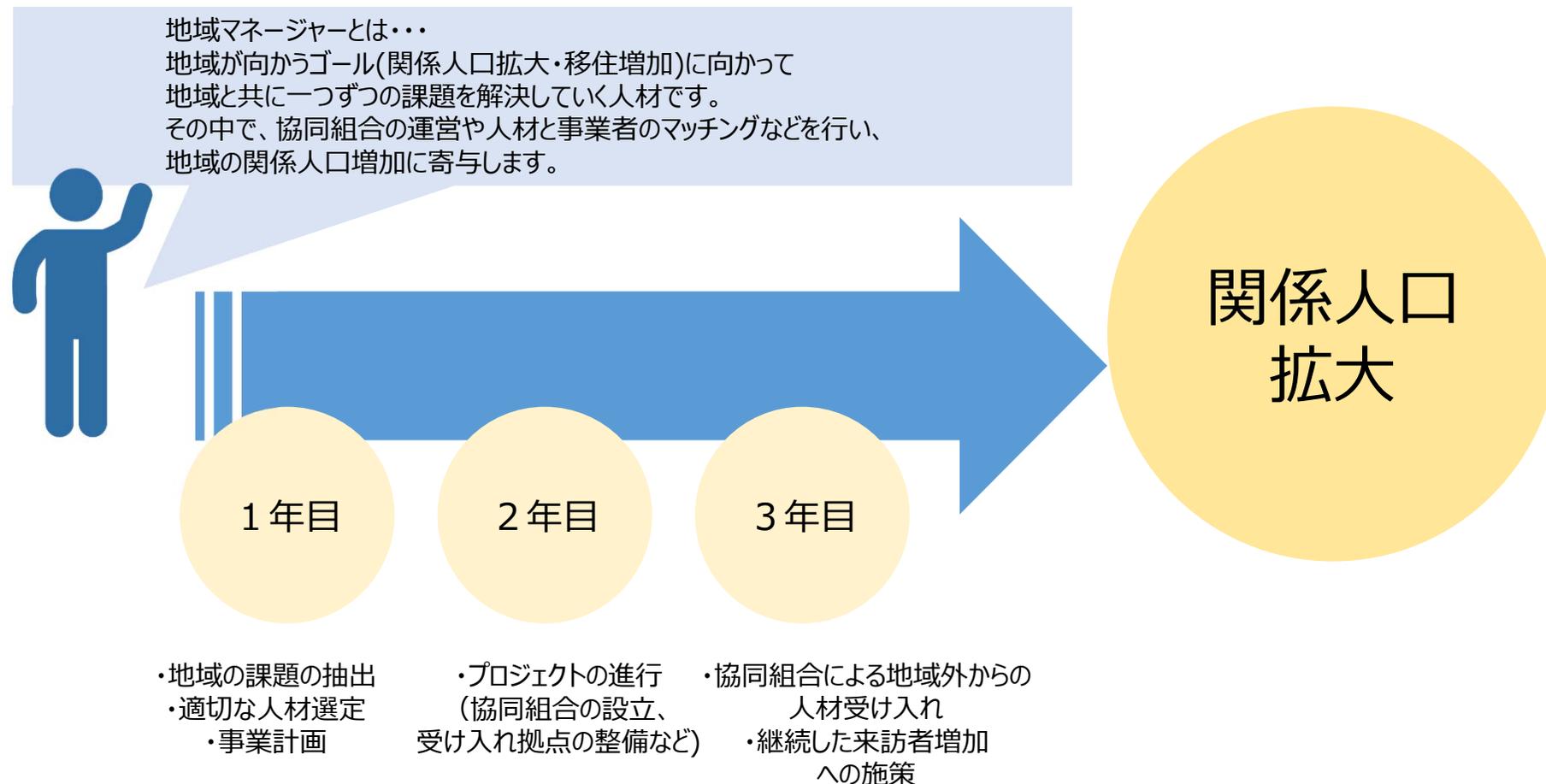
人口減少が深刻な過疎地の働き手不足を解消するため施行された「特定地域づくり事業協同組合制度」。

この制度が機能するには、地域に働きに来る人材が必要です。

私たちは、地域の情報を発信し、集まった人材と地域の仕事をマッチングする人材を「地域マネージャー」と呼び、募集・配置を行っていきます。

1.事業概要・スキーム図-2

関係人口の拡大に向け、3ヶ年かけて
地域マネージャーに伴走しながら取り組んでいきます。



関係人口拡大のためには地域ごとにロードマップが必要。
ロードマップを進んでいく中で来訪者を受け入れる拠点の整備を軸に地域づくりを行う
ことで地域の産業の活性化を促し、新たな雇用の創出・関係人口の拡大につなげます。

地域マネージャー候補の募集方法

- ・離島百貨店店頭での離島サロンメンバー募集
- ・離島サロンを訪れた人との会話
- ・離島サロンメンバー、オンラインイベント参加者への希望アンケート
- ・現地での発掘

募集・採用についての課題

コロナ禍によって離島サロンを訪れる人が少なく、また、離島サロンに人を集めて座談会などを行うことが難しかった。地域によっては来島制限もあり、なかなか事業が進みづらい面があった。今後は離島サロンを「リアルな場」に限らずオンラインやSNSにも拡げ、広く多くの人材と接点を持てるようにしたい。また、地域マネージャーに限らず、離島サロンで出会った人材を地域のプロジェクトに参加させられるような仕組みも考えたい。

地域マネージャー候補の経歴と役割

<隠岐の島町>

- ①協同組合での人材マッチング担当
20代男性
現地移住者
自身もマルチワーカーのような仕事に従事

②情報発信担当

20代男性
都内在住
Webマーケター
東京との二拠点居住予定

<丹波山村>

都内在住大学院生と名古屋在住大学生
基本的にリモートで会議に参加し、適宜現地を訪問
学業の傍らで丹波山村の地域づくりに参加する



2.活動内容－概要

主に離島百貨店が運営するアンテナショップ「離島百貨店」を用いた人材の募集を行なった。
地域マネージャー候補となった人材を現地へ滞在させ、現地担当者らと打ち合わせを行い、事業計画をたて、プロジェクトを進行させている。
また、オンラインイベントも開催し、地域マネージャーへの興味関心を調査。今後も継続して取り組み、他地域への横展開も図ってきたい。

活動内容 人材の募集と配置

<離島百貨店店頭>

離島百貨店来店者を関係人口の候補と捉え、離島サロンメンバーとして会員登録を行なった。離島サロンメンバーへ希望調査を行い、希望者への募集を行った。

<人材の配置>

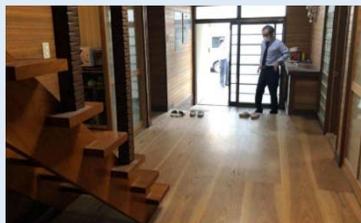
選定した人材を現地へ派遣。現地担当者と顔合わせを経て採用。
Zoomなどを用いたリモート会議なども行いながら、次年度以降の事業計画を計画中。

<オンラインイベント>

地方での仕事に関するオンラインイベントを開催。
参加者にヒアリングを行い、地域マネージャーへの関心について調査を行った。



・隠岐の島町・・・町内の空き家を職住一体型の施設としてリノベーションを計画。
また、当該施設にはカフェスペースを設け、地域住民と来訪者が交流できるよう運営予定。
次年度での協同組合設立を目標としており、マルチワーカーの受け入れ拠点としても活用予定。



・丹波山村・・・昨今のワーケーション需要を受け、都心から近い立地を生かして村所有の有休施設をテレワーク・ワーケーション拠点として運営するためのリノベーションを計画。
施設の改修を軸に地域そのものの再生に取り組み、来訪者による需要の拡大から新たな雇用の創出を目指す。



事業成果・KPI達成状況		
	項目	達成状況
1	隠岐の島町 地域マネージャー配置	達成
2	丹波山村 地域マネージャー配置	達成
3	粟島浦村 地域マネージャー配置	未達

3.自立化・自走化の検討

項目	検討内容
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・離島百貨店・・・地域マネージャーと自治体との間にたち、事業の遂行に伴走する ・地域マネージャー・・・各地域関係団体、自治体と連携して事業のマネジメントを行う ・各自治体・・・事業の進行を補助する ・各地域関係団体・・・地域マネージャーと連携して事業を進行する
運営費用	<ul style="list-style-type: none"> ・初期投資は補助金と地方金融機関の融資をベースに拠点施設を整える ・3年間、様々な支援を受ける中で体制を整え、地域マネージャーが地域に根付くためにも協同組合の事務局費や自らの起業やDMOの設立によって自走できるよう運営費を賄う。
運営方針	<p>基本的に3ヶ年計画で事業を継続。 関係人口となりうる来訪者の受け入れ拠点の整備を行い、これを軸に関係人口の拡大に向けて地域づくりに取り組む。</p>

4.他地域への横展開の可能性の検討

項目	検討内容
事業スキーム ・プログラム	<ol style="list-style-type: none"> 1,連携地域の中で同様の取り組みを行いたい地域から順に地域の特性、課題を抽出。地域が望む人材を把握し、離島サロンを活用した人材の募集を行う。 2,集まった人材の中から地域が望む人材に近い人材を複数人選定。地域への滞在を通して適正な人材かどうかを図る。 3,採用された人材とともに地域と話し合いを重ね、目標に向かうロードマップを引く。その中で取り組むべき課題に対しプロジェクトを企画する。 4,地域マネージャーが地域と話し合いを重ねプロジェクトを進行する中で適宜離島百貨店がサポートを行う。 5,プロジェクトを進行していく中で、地域マネージャー自身がDMOを設立する・起業するなどの補助を行い、地域マネージャーの自立・自走化に向けて伴走する。
連携先・地域	<p>○離島百貨店会員自治体 新潟県(粟島浦村)、島根県(隠岐の島町、知夫村、海士町)、岡山県(笠岡市)、愛媛県(上島町)、長崎県(壱岐市)、熊本県(苓北町)、鹿児島県(長島町、喜界町、三島村、十島村)</p> <p>○NPO法人小さな村総合研究所 北海道(音威子府村)、福島県(檜枝岐村)、山梨県(丹波山村)、和歌山県(北山村)、岡山県(新庄村)、高知県(大川村)、熊本県(五木村)</p>
課題と対策	<p>コロナ禍において地域によっては来島制限などがあり、離島百貨店職員や人材が現地に赴くことの困難さがある。 まずはZoomなどのWebシステムを介した顔合わせなどを行い、適宜状況を判断しながら感染症対策を万全の上で現地訪問につなげる。</p>